

(様式第7号)

地域の課題解決のための活動報告

記入日：令和5年6月24日

作成者：大永賢也美

地域の課題解決のために行った活動を1つ選び、できるだけ具体的な数値を挙げて報告してください。すべての項目に、一般の人に伝わりやすいようにご記入ください。

*この報告はあしや市民活動センターのホームページに掲載されます。

(登録を公開している団体のみ)

| | |
|---|------------------------|
| 団体名 | |
| 新日本婦人の会 芦屋支部 | |
| 事業名 | 日時(期間)、場所 |
| 学習・講演会「農業は国の生命線」 | 2022年10月29日 市民センター203号 |
| 内容(実績) *実施したことを具体的に | 受益者数 |
| 自由 ロシアウクライナ戦争は全世界にグローバル主義、新資本主義の大きな影響が市民生活の安全をおびやかしている事と懸念した。特に日本では食料自給率が低く戦争で死ななくても食料危機により生命をおびやかししていること。消費者は企業、特に農における殺虫剤(神経毒やホルモンかく乱剤)の使用量。遺伝子組み換え食品がすぐ身近にあること。農業の高齢化、所得の現実問題を講演してもらった。 | (35) 人 |
| | 参加者数 |
| | (35) 人 |
| 成果(社会へのインパクト) *どのような良い変化を社会にもたらしたかを具体的に | |
| 男女性年齢幅広い参加者あり、現実問題を突き付けられた。問題の基にあるものは何かも教えてもらった。 | |
| 今後の展望(どのように継続、発展するか) | |
| 現実と知ったので次は2回目「農業の未来」について同様の研究会と持ち、市民が参加できるくふうを予定。 | |